

DIGITAL PIANO

SCLP-6450 SCLP-6350

バージョン 2.00 追加機能説明書

JA

バージョン1.00からバージョン2.00へのバージョンアップにより、以下の機能が追加されました。

- USBオーディオインターフェース機能
- スマートデバイスアプリ「スマートピアニスト」に対応

USBオーディオインターフェース機能

USBオーディオインターフェース機能とは、USBケーブルを使って、USB [TO HOST]端子にコンピューターやスマートデバイス(スマートフォンやタブレット端末など)に接続し、オーディオデータをデジタルで送受信する機能です。この機能により、たとえば次のようなことができるようになります。

- **オーディオデータを高音質で再生**
[AUX IN]端子での接続と比べて、音質の劣化が少なくクリアな音質で楽しめます。
- **録音ソフトや音楽制作ソフトを使って、楽器の演奏をオーディオデータとして録音**
録音したデータは、コンピューターやスマートデバイスで再生できます。

また、これにともない、楽器へのオーディオ入力音を、楽器での演奏音とともにコンピューターやスマートデバイスに出力するかどうかを設定できるようになりました(オーディオループバック機能)。

出力する場合はオンに、出力しない場合は、オフにします。たとえば、コンピューターやスマートデバイスを使って、楽器での演奏音だけでなく楽器へ入力したオーディオ再生音も録音したい場合はオンに、楽器での演奏音だけを録音したい場合はオフにします。

設定は、[設定] ボタンを何度か押して、システムメニュー画面を選び、「ユーティリティ」→「オーディオループバック」で行ないます。

設定範囲: On (オン)、Off (オフ)

初期設定: On (オン)

コンピューターやスマートデバイスとの接続方法など詳しくは、下記ウェブサイトの「取扱説明書」のページから、「コンピューターとつなぐ」や「スマートデバイス接続マニュアル」をダウンロードしてご確認ください。

サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>

NOTE

楽器へのオーディオ入力音の音量は、コンピューターまたはスマートデバイス側で調節してください。

注記

DAW (Digital Audio Workstation) などの音楽制作アプリケーションと一緒に使用する場合、設定によっては大きな音が発生することがあるため、オーディオループバックをオフにしてご使用ください。


NOTE

- Bluetoothオーディオ機能や無線LAN接続によるオーディオ入力音もオーディオループバックの対象です。
- 楽器でのオーディオ再生音は、この設定がオンのときは、コンピューターやスマートデバイスに出力されますが、オフのときは出力されません。
- 楽器でオーディオ録音すると、この設定がオンのときは、コンピューターやスマートデバイスからのオーディオ入力音も録音されますが、オフのときは録音されません。

スマートデバイスアプリ 「スマートピアニスト」

この楽器と一緒にスマートデバイスアプリ「スマートピアニスト」(無料)を使えるようになります。このアプリを使うと、スマートデバイスで音色選択やメトロノームなどを直感的に操作したり、譜面を表示したりできます。このアプリについて詳しくは、下記ウェブサイトでご確認ください。

<http://jp.yamaha.com/kbdapps/>

楽器とスマートデバイスの接続は、「スマートピアニスト」の接続ウィザードにより行ないます。接続ウィザードを開始するには、「スマートピアニスト」の画面左上にある「」をタップしてメニューを開き、「楽器」→「接続ウィザードを開始する」を順にタップします。

注記

楽器とスマートデバイスを接続した状態で「スマートピアニスト」を起動すると、楽器の設定が、「スマートピアニスト」での設定に自動的に変更されます。楽器での設定を失いたくない場合は、バックアップデータとしてUSBフラッシュメモリーやコンピューターに保存しておいてください。操作方法については楽器に付属の取扱説明書をご覧ください。

NOTE

「スマートピアニスト」の使用中は、楽器の[EXIT]ボタン以外のボタンは使えません。「スマートピアニスト」を使って操作してください。楽器の[EXIT]ボタンを押すと、「スマートピアニスト」との接続が解除され、楽器で操作できるようになります。

Manual Development Group
© Yamaha Corporation
2018年4月発行 MWMA*.*- **A0

VAP9750